

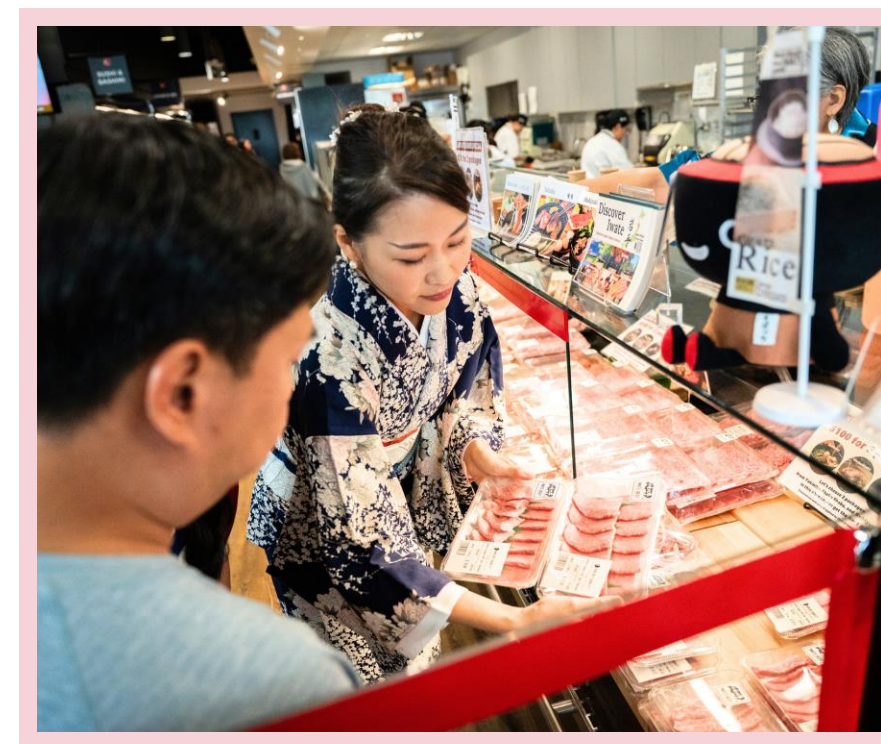
カナダバンクーバー在住

Enomoto Ayano

榎本彩乃



神奈川県 横浜市生まれ、大和市育ち
明治学院大学 文学部 英文学科 卒業
現在、バンクーバー在住6年目



大学卒業後、海外専門旅行会社の企画部にて約3年半勤務し、商品企画や分析、アメリカ政府観光局とのイベント企画・運営を担当しました。その後、外資系アパレルのハイブランド本社での勤務を経て、学生時代からの目標であった「世界と日本の架け橋になる」ことを実現するため、26歳でカナダへ渡航。

多国籍文化のカナダで多くの経験を重ね、現在は日本産品のカナダ市場への販路開拓やプロモーションに携わっています。



Vancouver





気候

年間降水日数の平年値
約160日～170日
1年の半分近く

Rain + Vancouver = Raincouver



自然

市内の公園は**230カ所以上**！
自転車専用レーンや遊歩道が、
現在までに**約250km以上**！



治安

カナダ

世界平和度指数ランキング
163カ国中 **17位**

バンクーバー

世界で最も安全に1人旅ができる **4位**



多国籍文化

人口の過半数が白人以外の人々
(ビジブル・マイノリティ) で構成
バンクーバー周辺の家庭では、
約40%の人々が英語以外の言語を話す



横浜

国際交流



バンクーバー

多文化共生



Greenest City Action Plan

2020年までにバンクーバーを「世界で最もグリーンな都市」にするという目標を掲げた
2011年にスタートした都市戦略

01

炭素 (Carbon)

02

廃棄物 (Waste)

03

環境 (Ecosystems)

炭素 (Carbon)



自転車インフラの整備

自転車専用レーン（サイクリングロード）を大幅に拡充し、自転車ネットワークを強化



公共交通機関への投資

高架鉄道などの公共交通機関へのアクセスと利便性を向上

成果

市民の移動の**約54%**が徒歩・自転車・公共交通機関で占め
市民一人当たりの自動車走行距離は大幅に減少した。

廃棄物 (Waste)



生ゴミ分別とリサイクル

生ゴミとリサイクル可能な資源の分別収集を義務付け。
これにより、有機廃棄物を堆肥化（コンポスト）に回した。



使い捨て製品の規制

レジ袋、ストロー、使い捨てカップなど、特定の使い捨てプラスチック製品の使用を段階的に規制・禁止する条例を導入。

成果

家庭ゴミの資源化率（リサイクル・堆肥化に回された割合）は
58%に達した。

地元の食料 (Ecosystems)



コミュニティガーデン

市内の利用可能な土地に、市民が利用できる菜園区画を大幅に増加。



ファーマーズマーケット

地域で採れた野菜や食品を販売する市場の数を増やし、地元産食品の流通を促進。



都市養鶏の許可

家庭でニワトリを飼育し、卵を得る「都市養鶏」の規制を緩和。

成果

地域の食料資産は**50%以上**の増加を達成し、目標を達成。
市民はより新鮮な地元の食品にアクセスできるように。

自然へアクセス (Ecosystems)



大規模な植樹活動

市民やボランティアを巻き込み、街路や公園、学校などに集中的に植樹を行う。



緑道の整備

自転車や歩行者のための緑に囲まれた道を拡大。



自然エリアの再生

湿地帯や海岸線など、荒廃した自然エリアを再生・拡張。

15万本の植樹目標を達成。

25ヘクタール（25万平方メートル）の自然エリアが再生。

成果

補助金プログラム

GCAPの成功要因の一つである「市民の積極的な巻き込み（Community Engagement）」

大規模・団体向け

Greenest City Community Grants

GCAPの10の目標
「ゼロ・ウェイスト」「地元の食料」「交通」
などに直接貢献する、
専門的・大規模なプロジェクトを支援

年間総額約25万ドル(約 2,125万円)の資金があり、
1プロジェクトあたり最大5万ドル (約425万円) の
助成があった

小規模・個人向け

Greenest City Neighbourhood Small Grants

近隣レベルで、住民同士のつながりを深めながら
GCAPの目標を達成する
小規模で創造的なプロジェクトを支援

1プロジェクトあたり最大500ドル (約4万円)
の助成があった

皆さんへのメッセージ

多様なアイデアに触れ、自分の強みを見出し、
一人ひとりが能動的に動くことが大切。

その積み重ねが
自分や周りの環境が良くなっていくはず。